



別府から多彩な「温泉文化」を世界へ発信 大分はもっと豊かな夢ひろがる県になる

別府市明礬地区にあす8月1日、英国系ブランドの高級リゾートホテル「ANAインターコンチネンタル別府リゾート&スパ」がオープンする。事業主体として開発を手掛け、開業後も土地・建物を保有する大手リース会社「東京センチュリー」(本社・東京都千代田区)の浅田俊一社長(豊後高田市出身)に、誘致に懸けた思いや今後の展望を聞いた。



東京センチュリー株式会社
代表取締役社長

浅田 俊一

PROFILE プロフィール

あさだしゅんいち／1949年生まれ。大分上野丘高校、東京大学法学部を卒業後、72年に第一勧業銀行(現みずほフィナンシャルグループ)に入社。みずほ銀行常務取締役、みずほフィナンシャルグループ取締役副社長、東京リース社長を経て、09年4月に東京センチュリーリース(現東京センチュリー)社長に就任。豊の国かぼす特命大使。

観光業とはグローバルベースでみると最大の輸出産業だと思っています。今後、従来型の輸出産業で外貨を獲得する日本のビジネスモデルは通用しにくくなるでしょう。サービスや景観を原資とし

―欧米の富裕層をターゲットにしたリゾートホテルが地方で開業するのは珍しいケースではないですか。

通常このクラスのホテル建設にはもっとと年数がかかり、計画が頓挫することもあります。地域住民や自治体が非常に協力的でスムーズに事業が進みました。あらためて感謝いたします。2016年の熊本・大分地震の時は「もうダメかな」と覚悟しましたが、すぐにホテル側から「計画通り進める」と連絡をもらい、彼らが非常に強い決意で事業に取り組んでいることを再認識しました。「さすが」と感心し、心強かったことを今も思い出します。

―いよいよあす開業です。誘致に乗り出したきっかけや、開業に至るまでの道のりを振り返って思うことを教えてください。

不動産活用の相談を受けて初めて土地を見たとき、湯煙が立ち上るダイナミックな景観にひかれました。これほど多種多様な温泉が自噴している地域は世界のどこにもありません。近郊には国東半島の六郷満山など歴史的、文化的な魅力も十分あります。知的好奇心旺盛な欧米の富裕層に楽しんでもらえる立地だと確信しました。私が大分県出身なので「ふるさとを豊かにしたい」という思いもありました。インターコンチネンタルホテルにアプローチしたところ、彼らも「調べれば調べるほど魅力的な場所」と判断。着手から約4年という非常にスピーディーな開業となりました。



湯煙が上るダイナミックな景観



豊かな食も別府の魅力



多種多様な温泉

て、外貨獲得可能な観光立国へと変革を切るのが、これからの日本の生き方になるのでは。そこで必要になるのが特に欧米の富裕層の取り込みですが、現在の日本には彼らを受け入れるスーパーラグジュアリークラスのホテルは約30軒しかありません。例えばタイには約120軒あるのと比べると、非常に少ないのが現状です。

「ANAインターコンチネンタル別府リゾート&スパ」の開業で、地方でも上質な旅を楽しむことが実証されれば、観光における日本のポテンシャルの高さ

を世界に示すことになります。他の高級ホテルブランドも魅力ある地方に注目、進出するようになるでしょう。有力ホテルの建設は政府が目指す地方創生の流れを促進し、地域経済の活性化につながります。「ANAインターコンチネンタル別府リゾート&スパ」は、観光立国としての日本の新しいモデルケースになると期待します。

―ホテル進出や既存の旅館の施設拡充が次々と発表され、別府への注目度が高まっていますね。

とてもいい循環だと思いますよ。競争環境と捉えるのではなく、それぞれのターゲットをひきつける観光地として全体で協力して別府の魅力を磨いていければと思いますね。

当社の基幹事業である自動車や船舶、航空機のリースでも、何らかの形で別府に貢献することができればと考えています。例えば、電気自動車や自動運転システムを利用したサービス。大分空



ANAインターコンチネンタル別府リゾート&スパ

別府市大字鉄輪499番地18
Tel.06-6347-1202(宿泊予約)
[チェックイン/アウト]15:00/11:00
[総客室数]89室
― 禁煙 89室(全室禁煙)
― ユニバーサルルーム 1室



企画・制作／大分合同新聞社 東京支社

顧客満足度の次は、地球満足度。

人の満足度と同じように、環境の満足度を追求し、より住みやすい社会を、より広く、より長く維持する会社へ。

東京センチュリーは、ANAインターコンチネンタル別府リゾート&スパの開発を通じて、観光産業の活性化や雇用の創出に寄与することで、地方創生に貢献していきます。



『金融×サービス×事業』の新領域へ。
東京センチュリー株式会社



おかげさまで東京センチュリーは合併10周年を迎えました。

www.tokyocentury.co.jp